

宮崎県議会議員　無所属／未来への風

わきたに
脇谷のりこ通信

Vol.12
2026年
秋 号

「時代に合った教育・地域医療へ!!」

ごあいさつ

人口減少、少子高齢化が進む中、今、日本は大きな転換期を迎えています。これまでの制度や仕組みをそのまま維持することが難しくなり、国では高校教育や医療提供体制の見直しなど、人口減少社会を見据えた改革が進められています。

宮崎県においても、こうした国の動きを踏まえ、これからの時代に対応した取り組みが進んでいます。私たち自身も、社会の変化をしっかりと受け止め、意識を変えていかなければなりません。

そこで、今どのようなことが進められているのかを皆様にお伝えするため、各地域で県政報告会を開催しています。そこでいただいたご意見や地域の声を、これからの県政にしっかりと届けてまいります。

人口が減っても、安心して暮らし続けられる宮崎へ。皆様とともに、次の時代に向けた県政を進めてまいります。

県議会議員 脇谷のりこ

Profile

- ◆佐土原町生まれ。新富町立富田小・中学校卒
- ◆県立高鍋高等学校卒業（新体操でインターハイ出場）
- ◆武蔵野大学 人間関係学部卒業（認定心理士取得）
- ◆フリーアナウンサーとして 約35年
- ◆宮崎市議会議員2期
- ◆宮崎県議会議員1期目
- ◆2021年9月 自民党現職の不祥事を受けて、衆院選出馬のため、自民党女性局長を辞任し、同時に県議辞職
- ◆2023年4月 宮崎県議会議員2期目 13,101票にてトップと11票差で2位当選

資格取得

◆宮崎県防災士　◆宮崎県レクリエーション・インストラクター

趣味

◆コーラス（くすの木合唱団：渡邉先生）　◆旅行・フラ

県立高校の教育改革

県立高校の入試が変わる　令和10年度入学者選抜から（対象：現在の中学2年生）

❶ 推薦入試と一般入試の一本化

これまでの推薦入試と一般入試の良さを兼ね備えた「前期入学者選抜」に一本化されます。

❷ 全員が同じ5教科の学力検査に

これまで推薦入試は学力検査0〜3教科でしたが、これからは5教科の学力検査に統一されます。

❸ 複数志願制導入

これまでは主に第1志望のみの出願でしたが、これからは第1志望（1校1学科）に加え、第2志望（1校3学科まで）にも同時出願できます。

❹ 入試は2月に実施

これまでは推薦が2月、一般が3月と別日程でしたが、これからは前期選抜（2月上旬・2日間）に一本化。定員に満たない学科のみ3月上旬に後期選抜を行います。

高校そのものが変わる　人口減少・AI時代を見据え、学び方も大きく変化



国は2040年を見据えた「N-E.X.T.ハイスクール構想」を策定し、高校教育を導く**3つの類型**を提示しました。

❶ 高度な専門職人材の育成

AI・デジタル技術を活かし、地域産業の課題を解決できる人材を育てる、専門高校の改革です。

❷ 理数系人材の育成

文系・理系の枠を超えた学びで、理数・デジタルの力を備えた人材を育てる、普通科改革です。

❸ 多様な学びの機会確保

学校間連携や遠隔授業などを活用し、どこにいても質の高い学びを受けられる環境を整えることです。

宮崎県内では、このうち**2つの拠点校が令和8年6月に決定**しています。

宮崎県内の拠点校2校が始動　「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」（令和8年6月内定）

❶ 類型1 高度な専門職人材の育成

都城農業高校　国からの補助（内定）約30億円（ハード約27億円/ソフト約3億円）

データ駆動型の農業学習へ転換。生産〜加工〜流通を一体化したカリキュラムとし、自動搾乳ロボット・ドローン等の実習設備や食品加工・商品開発センターを整備します。

❷ 類型2 理数系人材の育成

宮崎大宮高校　国からの補助（内定）約12億円（ハード約8億円/ソフト約4億円）

文理の枠を超えた理数探究中心のカリキュラムへ。フード・バイオ・製造情報・材料工学の4つの探究スタジオを整備し、AI時代のデータ活用力を育てます。

あと2つの高校が認定された後は、**全県の高校に広げていきます。**

これからの地域医療

これから病院の役割分担がより明確になります

これまでの医療体制は、1つの病院が、入院から回復まで対応してきました

1つの病院で	急な治療	経過をみる治療	リハビリ	生活に戻るまで

けれども、高齢化が進み、支える人材にも限りがある中で、**1つの病院だけで支え続けることが難しく**なってきています。

なぜ今、医療を変える必要があるのか

人口全体（宮崎県）
2040年
88.9万人
2020年の107.0万人から、20年で約18万人減る見通し

85歳以上の高齢者
2020→2040年
救急搬送 **+75%**
在宅医療の需要も+62%

介護職員（宮崎県）
2026年度
約2,600人不足
医師・看護師も地域による不足・偏在が課題です

支える人が減る中で、支えを必要とする人が増えていきます。
限られた医療資源を**地域全体でどう生かすか**
～これが新しい地域医療構想です～

病院は役割ごとにつながっていきます

高度急性期	急性期	包括期	在宅医療・介護
命を救う最も集中的な医療	手術や治療で病気を治す医療	生活に戻るためのリハビリ・療養医療	自宅や施設で暮らしながら受ける医療
重い脳卒中 心筋梗塞 大きな事故など	検査・手術・投薬などの治療そのもの	リハビリに加え、高齢者の急な発病にも対応	訪問診療 訪問看護 介護サービスなど

新しい地域医療構想では、従来の**「回復期」**を、高齢者の救急患者なども受け入れる**「包括期」**として位置づける方向です。

一つの病院で**すべてを完結する時代**から、
それぞれの病院が**役割を分担する時代**になります。

県の取組み

❶病床機能等分化・連携促進事業
将来の医療ニーズに合わせて地域で不足する包括期病床等への見直しを行う病院を、県が財政的に後押しする支援制度です。

❷新たな地域医療構想の策定へ
宮崎県医療審議会等で検討中
国の新方針を受け、2040年を見据えた宮崎県版の地域医療構想づくりが進められています（地域区分の見直し検討など）

住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、
在宅医療の充実や医師確保対策を進めてまいります。

実績 要望が実績になりました！

要望 宮崎商業高校のトイレの改修

実績 永年、放置されてきたトイレの改修が今年度中に実現します！



要望 西環状線の県道わきの樹木の伐採・剪定
（通学路の危険回避のため）

実績 宮崎土木事務所がすぐに対応



要望 県営住宅の住民による緑地帯の草刈り後の刈草を今まで市が廃棄してくれていたが、事業系廃棄物として厳格化されたため住民が大変困惑。自費で草を廃棄しなければならないことに

実績 刈草の廃棄を、県が年1回補助してくれることに





県政報告会を各地区で開催！（10/10は平和ヶ丘・11/7は本郷地域センターで開催予定）

7/12


浮田自治公民館（生目）

7/19

跡江自治公民館（生目）

9/6

久峰地区交流センター（佐土原）

9/26

江南集会所（大塚）

10/3

宮崎西地区交流センター（祇園・霧島）

トピックス 河川パートナーシップ事業

草刈りは、行政からの委託を受けた業者さんがされているとほとんどの方が思われていますが、実は、地域の皆さんがボランティアで年2～3回ほど刈っておられます。地域の環境を守ってくださっている「河川パートナーシップ」の登録団体の方々に感謝するためには、まずは、知って頂くことが大切だと感じます。





ご意見、ご感想をお寄せください

県議会会派
無所属／ 未来への風

〒880-8501 宮崎市橘通東2-10-1

脇谷のりこ連絡先
090-8416-4546
FAX：0985-47-9645
nory22@lib.bbiq.jp

公式HP

Instagram